

JARL

# 香川クラブ報

第 214 昭和59年10月15日



社団法人 日本アマチュア無線連盟香川クラブ

## 高松市趣味文化祭

### 参加について

昭和59年11月18日(日)高松市民文化センター3Fにおいて、高松市趣味協会の文化祭が開催されます。

わがJARL香川クラブもこれに参加して公開運用を行います。

公開運用は10:00~15:30となっておりますが、準備や片づけにはたくさんの人手が必要ですので、多勢の方がたのご協力をお願いします。

### 親睦レクリエーション

#### に参加して

高松市趣味協会が主催する親睦レクリエーションが、9月16日(日)に開催されました。

協会としては、1団体最低3名は参加してほしいということでしたが、巡回コースが昨年香川クラブが実施したコースとほとんど同じだったため参加者がいないのではないかと思っていました。しかし思いがけず7名の申込みがあり、全体で30数名がバスにゆっくりと腰をおろしての1日旅行は定刻9時の出発となりました。マイカーで行くのとちがい、運転の緊張もなく、ガイドさんの説明を聞き流しながら、最初の目的地=大谷焼窯元の地へと向いました。

今回は各クラブの合同であったため、はじめて顔を合わせる方も多く、趣味の領域も広いものとは思っていましたが、焼物に興味をもっている人も多く、窯元では相当の売上げがあったのではないのでしょうか。

霊山寺、ドイツ館、大麻比古神社を巡り、徳島市内へと向いました。昼食は蔵本駅前に近い、民芸割烹大正楼の大広間を借り、ビールで乾杯のあと、気のきいたFBな昼食となりました。

午後は原生の椎林が残る眉山山麓の天狗谷といわれる、昼でもほの暗い山麓を巧みに利用した、江戸初期に作庭した桃山式風の旭泉観賞式庭園のある瑞巖寺を訪れました。時間をかけて観賞すれば、もっと味わいのあるものになったでしょうが、素通りで帰ったのが残念でした。

次に見学したのが徳島県博物館です。郷土の考古・歴史・民俗資料を展示した郷土室、実生活と関係深い電気科学の実験教材を展示した科学室、そのほか天文室、美術室、地学室、生物室などがありました。

最後に鳴門公園で架橋の進捗度を見学しました。

帰りにヨーロッパ風、スイスの片田舎にでも来たような錯覚を受けるレストハウスで、展示している絵画を観賞しながら冷たい飲物で一服し、高松市へ帰着したのは19時過ぎでした。

曇ひとつない秋晴れに恵まれたFBな一日は、参加者にとって何よりのプレゼントでした。

参加者

JA5AHM JA5ETK JA5IMF JA5JJR  
JH5RYG JR5GCM JR5GCN

(DE JA5AHM)

## 電話級標準コース講習会

上記講習会が下記のとおり行われる旨の連絡がありましたのでお知らせします。御希望の方々によりしく御吹聴ください。

なお、申込方法等詳細につきましては、当クラブ会長、高松市内有名電気店でお尋ねください。

記

60年1月22日～2月22日 の間で、実質16日間

## ア メ ダ ス

NHKの天気予報ですっかり定着したアメダスは「雨だす(関西弁)」でもなければ「晴れドス」の反対語でもない。Automated Meteorological Data Acquisition System の頭文字からなるが、頭文字だけではアムダスとなるのでMと小文字を入れてアメダスになった。

全国千四百か所に気象庁が雨量、風向風速、日照、気温の4データを自動測定、送信する気象ロボットをおいて、電話回線で集めている地域気象観測システムのことである。その気象庁のコンピューターとNHKのコンピューターを直結して、自動的に日本地図に「雨の区域」が描けるようになった。あの地図上の青や赤の小さな四角形は、地表面積にして約40キロ四方を示している。その各地域に気象ロボットが2〜3基おかれていて、その最大の降水量が青か赤になる。つまり青なら1時間に20ミリ未満、赤は20ミリ以上である。

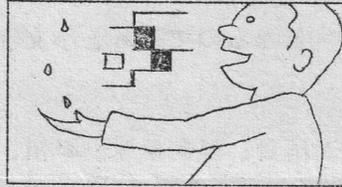
1時間に20ミリ、または2センチといわれてもピンとこないが、20ミリ以上が1時間内に降れば、東京都心なら下水があふれるほどのどしゃ降りである。だから、雨が降っていない(透明)か、降っている(青)、どしゃ降り(赤)という三つの段階ではあまりに粗雑だが、いまのところ装置能力はこれが限界。そのうちに七色模様でデリケートに描かれるようになるかもしれない。

当事者にとって厄介なことは、まわりが一滴も降っていないのに、ポツンと赤が出たり、そばで放送局が生中継している現場では雲一つない快晴であるのに気象ロボットが雨だと送信してきたりの誤まりである。

早朝からこんな間違いを確認するため、人里離れた山中のロボットの状況を調べるため、短時間で調査に向かう縁の下の人々がいるといった苦労は、あのアメダスの地図からは想像出来ないであろう。

アメダスに続いて次は「おしんだす」なんて、おふざけでないよという声がきこえるようだ。

(科学評論家 岸本康氏の 科学から)



### 四国電波監理局長の横顔

四国電波監理局長

福岡

宏

大阪府出身、五十六歳。  
昭和19年4月郵政省採用、  
54年7月東北電波監理局総



福岡電監局長

務部長、56年7月関東電波  
監理局総務部長、57年7月  
電波監理局無線通信部検定  
課長。

家族は夫人と二男。趣味  
はゴルフ、スキー。

社団法人 日本アマチュア無線連盟

香川クラブ報

発行責任者 J A S A H M 天野 英 弘

編 集 者 J A S I Q P 合田口 正 春

” J A S O I B 合田口 キヨ子

連絡事務所 高松市中新町

(〒760) 天野 英弘 方

(TEL) 高松

郵便振替口座 徳島48758 JARL香川クラブ